

# 国民健康保険からのお知らせ

国民健康保険の資格、給付、保健事業についてお知らせします。

届け出にはマイナンバーカード(個人番号カード)など、本人確認ができるものをお持ちください。

問 国保年金課 ☎ 214

## 資格の取得・喪失手続き

### ●加入(資格取得)

対 社会保険、共済組合など職場の健康保険を喪失した方で、任意継続や他の健康保険に加入していない方

持 離職および喪失の確認ができる書類(離職票、社会保険資格喪失証明書など)、年金手帳(60歳未満の方で、国民年金加入者を除く)

### ●脱退(資格喪失)

対 国民健康保険に加入していた方で、社会保険、共済組合など他の健康保険に加入した方

持 新しい保険証、国民健康保険証

## 給付のご案内

### ●出産したとき

被保険者が出産したとき、出産育児一時金42万円を支給します。

### ●亡くなったとき

被保険者が亡くなったとき、葬祭を行った方(喪主)に葬祭費5万円を支給します。

### ●医療費が高額になるとき

1カ月の医療費が、世帯ごとに設定された自己負担限度額を超えた場合、その超えた分を高額療養費として支給します。入院や高額な外来診療をするときは、事前に国保年金課で「限度額適用認定証」の交付を受け、医療機関などの窓口で提示すると、自己負担限度額までの支払いに抑えることができます。

### ●交通事故などに遭ったとき

交通事故など第三者(加害者)の行為によるけがや病気の場合でも、届け出をすることで保険証を使って診療を受けることができます。なお、示談を済ませるとその内容によっては保険証が使えなくなることがありますので、早めに届け出をしてください。

## 保健事業のご案内

### ●特定健診・特定保健指導

40歳以上の被保険者を対象に特定健診を実施します。また、特定健診の結果、メタボリックシンドロームに該当した方へ特定保健指導をご案内します。

## 国民健康保険被保険者証(保険証)の更新

現在使用されている八潮市国民健康保険被保険者証(保険証)は7月31日に有効期限を迎えるため、新しい保険証を7月下旬に簡易書留で住民登録の住所にお送りします。

●郵便受けなどに名前を表示するようお願いいたします。

●住民登録地以外の居所へは保険証が配達されないことがありますので、転居などの手続きをしてください。

●新しい保険証が届いたら、氏名、生年月日、住所などを必ずご確認ください。

●有効期限が切れた保険証は、市役所へ返却または処分をお願いします。

## 70歳以上の皆さんへ 高齢受給者証と保険証が1つになりました!

令和3年度から、高齢受給者証と保険証が1つになった「国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証」を交付します。8月1日以降に、医療機関などを受診される際、窓口で提示してください。この1

枚で保険診療が受けられます。

70歳以上の方には、「兼高齢受給者証」の表記が追加されています。

前年の所得などに基づいて判定した負担割合が表示されます。

※イラストはイメージです

## 市政の執行状況

令和3年第2回市議会定例会が6月1日から6月18日まで開催され、市長が開会初日に前定例会以降の市政の執行状況の概要について報告しました(一部抜粋。全文については、市ホームページに記載)。  
問 企画経営課 ☎ 885

### 〈主な事業〉

#### 教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～

・外国人市民と日本人市民が地域社会で支え合い、共に歩む地域づくりに取り組むため、3月に「八潮市多文化共生推進プラン」を策定

・4月1日から、八條北小学校が小規模特認校制度を開始し、令和3年度は、4人が制度を利用して、学区域外から入学

#### 健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～

・3月に、国民健康保険被保険者のうち40歳以上74歳以下の13,217人に対し、令和3年度特定健康診査に係る受診券を発送

・4月から、新生児聴覚スクリーニング検査費用の一部助成について、対象をすべての新生児に拡大

#### 防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～

・5月19日、地震などの緊急情報を伝達する全国瞬時警報システム「Jアラート」の防災行政無線による全国一斉情報伝達試験放送を実施

#### 産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～

・5月17日から、市内事業者への支援の一環として、中小企業向け不況対策資金融資の受け付けを開始

#### 都市基盤・環境～快適でやすらぎと潤いのあるまち～

・4月1日から、ペットボトルの収集方法について、回収用ネット袋に入れる方式に変更

・4月26日、八潮市を含む埼玉県東南部地域5市1町で、ゼロカーボンの達成に向けた連携を図り、効果的な取り組みを推進するため、「ゼロカーボンシティ」を共同で宣言



#### 新公共経営～協働で経営する自主・自律のまち～

・4月1日、市制施行50周年記念事業の実施にあたり、市民からの公募により決定したキャッチフレーズ「ありがとう八潮 これからも八潮」およびロゴマークを公表

・4月1日から、市ホームページにおいて、さまざまな問い合わせに対する利便性の向上を図るため、「AIチャットボットシステム」の運用を開始